

<分院肝臓内科>

G10 (general instructional objective)

消化器内科一般の基本的診療の基礎を身につけるとともに、肝臓疾患の病態と治療について学ぶ。B型、C型ウイルス肝炎を中心とした急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変症、肝細胞癌の臨床的なマネージメントが行えることを、目標とする。

SBOs (specific behavioral objectives)

(1) 病態の把握

肝疾患患者の現病歴、既往歴、家族歴、生活歴の聴取から病態の把握を適切に行える。

(2) 診察・検査

肝疾患の病態を評価するための診察（理学的所見）を自主的に行う。

行われた検査（採血データ、腹部超音波検査、腹部CT検査、腹部MRI検査、腹部血管造影検査、上部消化管内視鏡検査など）の評価することができる。

(3) 治療

患者の病態、病気に対する治療を理解し行うことができる。

特に

- ・ウイルス性肝炎に対する診断と抗ウイルス療法
- ・慢性肝炎、肝硬変症に対する治療（抗ウイルス療法以外の治療）
- ・非代償性肝硬変症、肝不全患者の全身管理
- ・肝癌の治療と治療後の管理
- ・治療の意義を理解し導入について見学する（について学ぶ）

LS1 (learning strategy 1) On the job training

(1) 上級医の指導（man to man method）のもとで入院患者の診察を行う。受け持ち患者数は10人前後とする。

(2) 週2回の部長回診に参加し症例提示を行う。

(3) 上級医の指導により肝疾患の検査や治療を自主的に計画し行う。

LS2 (learning strategy 2) 勉強会・カンファランス・学会など

- (1) 上級医の指導により開催される講義・勉強会に出席する。(週1回)
- (2) 抄読会に出席し最新の肝臓病の情報を把握する。(週1回) また自ら英語論文を読み、その要約のプレゼンテーションを行う。(2ヶ月間に1回)
- (3) 学会に参加し医学的な発表や討論について学ぶ。また学会における当院の状況を把握する。
- (4) 医学における統計学的解析を学ぶ。

週間予定

	朝	午前	午後	夕方	夜間
月曜日	抄読会	回診	CT	超音波	
火曜日		腹腔鏡・血管造影/内視鏡	血管造影・ラジオ波/CT	超音波	
水曜日		内視鏡	CT	超音波	
木曜日		回診	血管造影/CT	超音波	講義
金曜日		血管造影・ラジオ波/内視鏡	腹腔鏡・血管造影		

EV 評価

EPOC による評価方法 (研修医 指導医)

研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、EPOC 評価システムに入力すること